

令和元年度 御幸が原小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に、児童が自立と共生を果たし、これからの時代を生涯にわたり創造的にたくましく生き抜くための人間力の基礎を培う。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

児童の健全な成長には、良き人・集団との出会いと、学びの場にふさわしい環境が不可欠であることを踏まえ、教職員が熱意と英知を結集し、家庭・地域と連携ながら活力に満ちた教育活動を展開する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1)児童が教師に安心感や信頼感がもてるよう、児童個々の課題への丁寧な対応と多面的な児童理解のもと、認め励ます指導に努める。
- (2)児童が互いの良さを認め合いより良い学級・学校づくりに向けて、主体的に活動・活躍する場を意図的に仕組む。
- (3)「わかる授業」を通して基礎学力の定着を図るとともに、対話型の課題解決学習を効果的に取り入れながら、深い学びのある授業を構築する。
- (4)開かれた学校づくりを推進し、教育効果を高めるため、保護者との関係構築、地域の教育資源の積極的活用、鬼怒地域学校園の小・中学校との連携推進を図る。
- (5)教職員が課題意識をもって校務の工夫・改善に努め、学校組織の機能向上と効率化に努める。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】

学習や学校行事を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育基本法、学校教育法及び同施行規則、小学校学習指導要領、栃木県教育委員会の基本方針並びに宇都宮市教育委員会の学校教育の重点、宇都宮市学校教育スタンダードを十分に踏まえ、調和と統一のある教育課程を編成する。
- (2) 学習指導要領の内容を踏まえ、今後の教育の在り方を見据えて編成する。
- (3) 各教科・道徳科・特別活動及び総合的な学習の時間などの関連を図り、調和と統一のとれた編成に努める。
- (4) 前年度活動の評価や児童・保護者・地域の実態等を踏まえ、指導法の工夫や教育資源（人・地域・機関等）の活用に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・校務改善の取組による効率的・効果的な学校運営（含 勤務時間の適性化）
- ・積極的な情報発信と家庭・地域・関係機関との連携推進

【学 習 指 導】

- ・主体的・対話的で深い学びを追究する授業づくりの推進
- ・習熟度に応じた学びの複線化の工夫と、学習内容定着を図る指導 b の徹底

【児 童 生 徒 指 導】

- ・規範意識の高揚と、自他を大切にする児童の育成（含 学業指導）

○よりよい学級・学校づくりへの意欲と行動力を高める指導の充実

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・運動に関する自分の課題を認識し、楽しみながら体力の向上を図る体育的活動の充実
- ・健康・安全への意識と実践力の向上を図る指導の推進

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 漢字の読み書きや計算力定着を図る指導の充実を図る。 ・朝の国算チャレンジタイムを活用した学習支援の充実（国語ドリルなど） ・宮っ子ステップアップシートの活用 ○②家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。 ・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用 ・自主学習ノートの活用と啓発と保護者への協力依頼 ③ 話合いの仕方の指導 ・話合いの意図的な設定と工夫		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。 ・年間1回、授業参観時に道徳の授業を実施 ・年間35時間、道徳の授業の実施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会実施、活用 ② 人権教育を全校体制で推進し、自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努める。 ・教職員対象の人権ワークショップの実施。 ・人権週間の設定		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 「みはらのきまり」をもとに週の生活目標を設定し、全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。 ・週の目標は行動目標とし、同一步調で指導にあたる。 ・「みはらのきまり」と「めざせ スーパーみはらっ子」との関連を図る。 ① 全職員の共通理解の下、全校体制で組織的に支援に当れるよう、報告及び情報交換を確実に行っていく。 ・児童の情報交換会や児童指導部会（毎月）の実施		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・教職員・地域住民の肯定的回答80%以上	① 児童会（あいさつ委員会）が中心となってあいさつ運動を実施する。（毎週火・金曜日の朝実施） ・学校だより・学級懇談会であいさつ励行を保護者に伝える。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用 ・あいさつ標語・ポスターの募集 ② 地域連携及び地域学校園で共通課題として、あいさつ運動を展開する。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用 ② 各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ③ 道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、そうした実践に向けた意欲を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分の健康に気を付けて生活している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 昨年度の生活についての実態調査等をもとに基本的生活習慣について（特に睡眠時間・食生活）、家庭との連携を図り啓発や指導をする ② 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常の生活指導を行う。 ③ 学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。 ④ 危機を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため、日常指導における安全指導を充実するとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。 ② 家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 外国語活動(英語活動)を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ② 外国語活動(英語活動)に関する校内研修や授業を相互に見合う機会を充実して指導力の向上を図る。 ③ 日常的に英語のあいさつやゲームを取り入れたり、英語の絵本を図書室に置いたりして英語に親しむ環境を整える。	【達成状況】 【次年度の方針】

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。 ② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。 ② 各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 ③ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを涵養する。 ② 人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③ 総合的な学習の時間や各教科の授業等において、地域の方や高齢者と交流する機会を設け、感謝や相手を思いやる心を育む。 ・児童会による「感謝の会」の実施 ・生活科における昔遊びでの交流	【達成状況】 【次年度の方針】
A 12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 総合的な学習の時間や児童会活動における環境教育を通して、環境問題への関心を高め、環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。 ・3年「地球にいいことはじめよう」での探究学習 ・環境委員会を中心としたリサイクル活動の推奨 ② 人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。 ③ 東日本大震災をはじめとした過去の災害の具体事例から学ぶ教材を工夫し、防災教育を充実する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B1 児童は、本の楽しさを味わっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、進んで読書をしている。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 読書意欲の向上のための環境整備 ・指導の充実を図る。整備 ・読み聞かせの充実 ・朝の読書タイム ・読書週間の実施（委員会） ・お話会 ・家読のすすめ【親子読書等】 ・読書記録の活用 ・必読図書の充実 ・読書マッチョマンカードなどの多読賞 ・新刊本、お薦め本の紹介 ・市立図書館の活用 ・図書館だよりの発行	【達成状況】 【次年度の方針】
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ・「チームみはらの特別支援教育」の推進 ② 特別支援学級の児童はもとより、通常学級においても、必要に応じて個別の支援計画の作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上	① いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し（年5回）、気になる児童への教育相談を行う。 ② いじめゼロ強調月間（5月・9月）の取組を実施し、いじめは決して許されないことを理解させる。また、なかよし委員会の活動により、児童の自発的な活動を促す。 ③ いじめ対策における学校での取組みを、学校だよりや学年だより(学期に1回)に載せ、保護者に伝え、連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合う暮をつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用 ② 教育相談、アンケート、Q U調査等の結果を活用し不適應傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有を図る。 ③ いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し（年5回）、気になる児童への教育相談を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 外国人児童について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。 ② 児童が、互いの国籍や文化の違い等認め合い尊重しながら生活できるよう、日常的な指導に努める。 ③ 外国人児童の実態や家庭環境に応じた日本語指導教師の活用を行う。 ④ 人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① 児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに、児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。 ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化 ・学級での活動の充実 ・ふれあい班活動の充実 ② 異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。 ③ 授業や様々な活動を通して、教職員が児童のよさや努力を認め励ます指導を行う。 ・「めざせ スーパーみはらっ子」カードの活用	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	○① 学校課題に沿って指導目標を明確にし、分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ・学習課題、「めあて」の明確化 ・分かりやすい板書の工夫 ・話し合い活動の充実 ② TTや少人数・習熟度別による指導を充実させ、成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。(3学年～)	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 「チームみはら」の合言葉のもと、学校の諸課題への対応や、学校行事の準備・運営等に、教職員が相互に助け合いながら一丸となって取り組むよう努める。 ② 教職員の協働性を高めることに視点を置き、教職員の得意分野や持ち味が生きる組織運営に努めるとともに、困難を感じる業務について気軽に相談し、助け合える雰囲気を大切にしよう。	【達成状況】 【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が、勤務時間を意識し、業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ② 教職員の負担軽減に向け、学校の組織運営の改善や、各種行事等の実施方法の改善を行う。 ③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園各部会・分科会毎に今年度の基本方針を受けた取組の充実を図る。 ・各部会、分科会の進捗状況について情報共有する。 ② 5校連教育講演会や全体研修会の実施により、小中の相互理解を深める。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 御幸が原小学校地域協議会を定期的に開催し、学校経営方針への保護者、地域住民の意見反映や、学校関係者評価の実施などを行っている。 ② 校外での体験活動時の安全確保や、授業への支援などへの協力、参画を得て、学校支援ボランティアを有効に活用している。 ③ 家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	① 御幸が原小学校地域協議会を定期的に開催し、学校経営方針への保護者、地域住民の意見反映や、学校関係者評価の実施などを行っている。 ② 校外での体験活動時の安全確保や、授業への支援などへの協力、参画を得て、学校支援ボランティアを有効に活用している。 ③ 家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し、児童が将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 85%以上	① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。 ② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。 ③ 熱中症対策予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A25 学校は、学習に必要なＩＣＴ機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、ＩＣＴ機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 児童がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるように、授業において積極的にＩＣＴ機器を活用する。 ② 各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 ③ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 学校は、人権尊重及び自他の生命や存在を大切にす児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「先生は、自分の話や悩み・相談などを真剣に聞いてくれる。」 ⇒児童・保護者の肯定的回答 80%以上	① どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。 ・年間1回、授業参観時に道徳の授業を実施 ・年間35時間、道徳の授業の実施 ・Q-Uテストの実施、事例研究会実施、活用 ② 人権教育を全校体制で推進し、自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努める。 ・教職員対象の人権ワークショップの実施。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B3 学校は、「自分を伸ばし、仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、『自分を伸ばし、仲間と伸びる児童』を育てるために、教育活動の活性化に努めている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 児童の発想を生かした児童会活動や、仲間と力を合わせて取り組む学校行事や学年行事の内容充実を図る。 ・あいさつ運動や地域清掃活動等、児童の発想を生かした委員会活動 ・児童によるスローガン募集と運動会運営 ・児童集会の内容充実 ・募金活動等 ・チャレンジギネス等の活動	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。